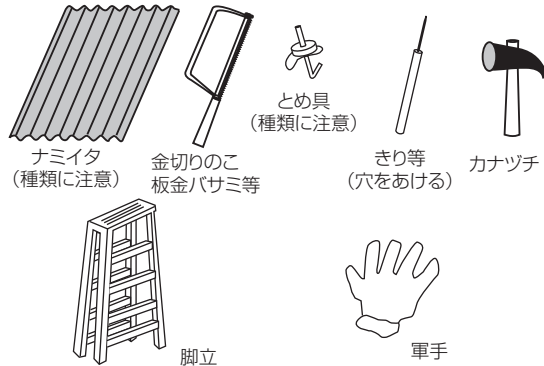


## 用意するもの



## 母屋(受材)について

母屋(木材、鉄骨チャンネル、パイプ等)には直射日光による蓄熱を避けるためできるだけ白系統の色で塗装してください。

### 母屋間隔(鉄板小波)

地域	受材間隔
一般地域	500~600mm
強風多雪地域	400~500mm

母屋間隔は表のとおり間隔を調整して施工してください。

# Do it yourself!



# ナミイタの 取り替え方

カーポートやバルコニーの屋根のナミイタはいたんでいませんか?

古くなったナミイタは、変色や汚れが目立ち、割れやすく、強風にも耐えられなくなることがあります。

## ⚠ ナミイタについての注意事項

- 設置場所が塗料や溶剤等の雰囲気のあるところでは、表面が侵されたりクラックが入る恐れがありますのでその様な場所でのご使用はさけてください。施工時の塗装作業でも、塗料が十分に乾いてから取り付けをおこなってください。特にポリカナミイタについては、ご注意ください。
- シーリング剤を使用される場合は、1成分型シリコンアルコールタイプを使用してください。特にポリカナミイタについては、ご注意ください。
- 火気の近く(煙突、ストーブ等)では使用しないでください。
- ナミイタの上には乗らないでください。
- 廃棄処分する際は、プラスチック廃棄物として専門業者に依頼するか、自治体の条例等に従って処分してください。
- 硬質塩化ビニル樹脂製ナミイタは高温下での蓄熱により変形することがありますので取り付け場所の内部は、密閉状態にせず、換気できる構造にして内部温度の上昇を避けてください。
- 表面が汚れた場合は、水洗いまたは水で200倍程度に薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布で軽く拭き取ってください。(原液のままでは、クラック発生のおそれがあります。)クレンザーやアルカリ性洗剤、タワシや硬い布は絶対に使用しないでください。
- 表面はガラスなどにより傷がつきやすいので、傷がつかないように注意してください。取付け後に建築物の内装外装工事がある場合は、フィルム等でポリカーボネート製品をカバーし、保護してください。

## 選びましょう。

適材適所でお選びください。

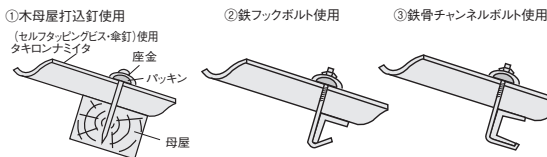
◎:推奨 ○:適応 ×:不適応  
※法令により使用できない場合がございます。  
詳細は担当者までお問い合わせください。

タキロンナミイタ	ポリカナミイタ (PCナミ)	ポリカナミイタ (熱線カットタイプ)	硬質塩化ビニルナミイタ (Lナミ)	ガラスネット強化ナミイタ (SLナミ)
材質	ポリカーボネート樹脂	ポリカーボネート樹脂	硬質塩化ビニル樹脂	硬質塩化ビニル樹脂 + ガラスネット
一般的な耐用年数	7~10年	7~10年	2~3年	5~7年
耐衝撃強度(当社比)	◎	◎	○	○
耐熱温度※1	+120℃	+120℃	+65℃	+65℃
用途	カーポート (開放型) ◎	◎	○	○
	テラス (密閉型) ○	◎	×	×
	雪囲い ○	◎	○	○
	目隠し ◎※2	◎※3	○	○
規格	鉄板小波 幅655ミリ (働き幅 約576)	長さ	3R 910ミリ 6R 1,820ミリ 9R 2,730ミリ 4R 1,210ミリ 7R 2,120ミリ 10R 3,030ミリ 5R 1,515ミリ 8R 2,420ミリ	

用途/◎:推奨 ○:適応 ×:不適応 法令により使用出来ない場合もございます。

- ※1: 樹脂の一般的な特性を表した参考値であり、保証値ではありません。
- ※2: クリアマット、ミルク、オパール、ブロンズマット、グレースモックマットが対象となります。
- ※3: クリアスモックマット、ブロンズマット、ブルースモックマットが対象となります。

## とめ具の種類



## とめ具の必要本数

とめ具は5山おきにとめますので

(ナミイタ必要枚数×3+1)×(母屋の数)を目安にしてください。

※軒先部は、3~4山おきにとめてください。

## 取扱店

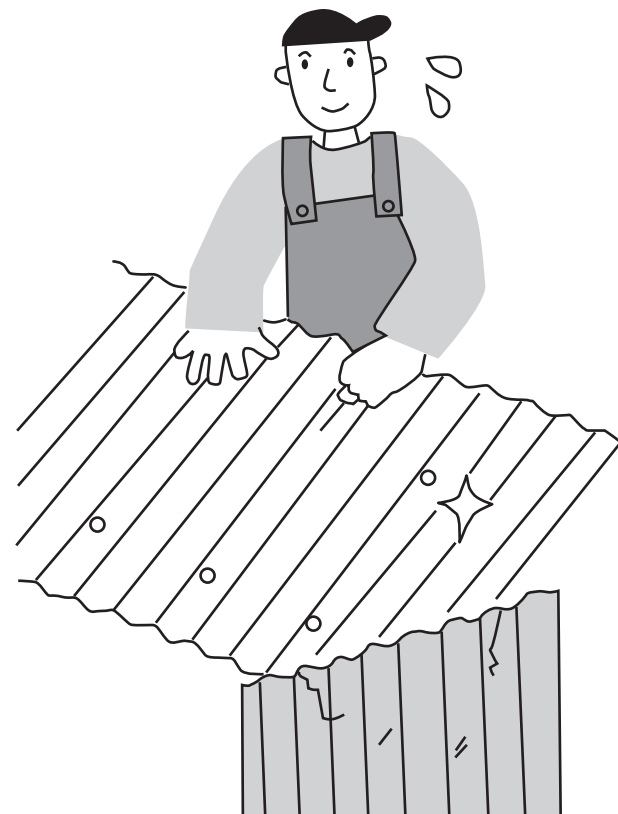
2019.5 (11) IS1

製造元 **タキロンシーアイ株式会社**

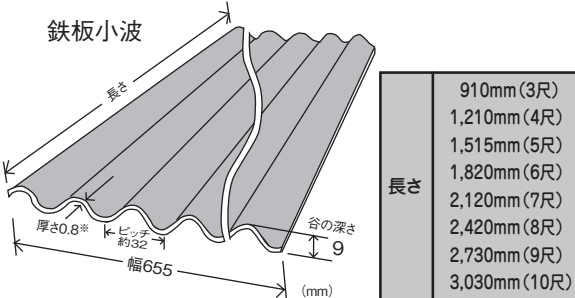
販売元 **タキロンKCホームインプループメント株式会社**

〒108-6030 東京都港区港南2-15-1 (品川インターシティA棟) ☎(03)5715-7701

ホームページ <https://www.takiron-ci.co.jp>

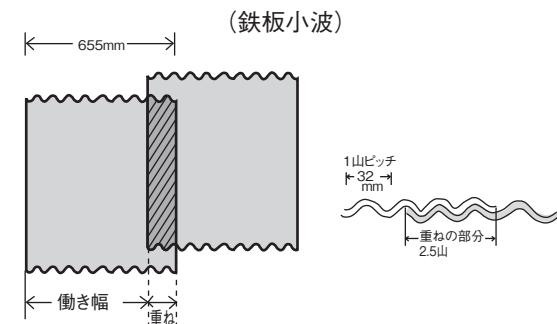


# ナミイタの規格



※ポリカナミイタは0.7、ガラスネット強化ナミイタSは0.9

# 必要枚数の計算方法

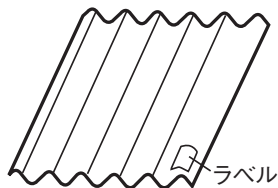


ナミイタの重ねの部分**は2.5山以上**ですので  
 $655(\text{幅}) \div \text{約}80(2.5\text{山分}) = \text{約}576(\text{動き幅})\text{mm}$

(例) 1間(1800mm)にとりつける為に必要なナミイタは  
 $(1800 - 80) \div 576 = 2.99 \dots \dots 3\text{枚必要となります。}$

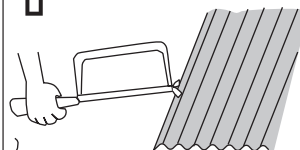
# ナミイタのうらとおもて

ポリカナミイタ製品ラベルの表示を確認して使用してください。



# 施工の手順

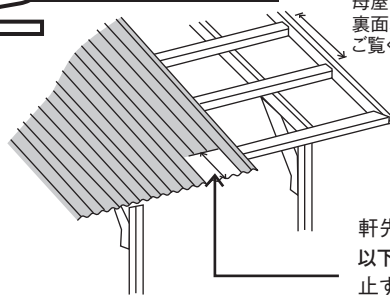
## 1 ナミイタの切断



切断は金切りのご、板金バサミ、ハンドソーなどで行ないます。曲線状に切る時は糸鋸などを使用します。

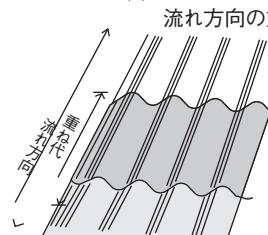
(注) 寒冷時の穴あけや切断は特にていねいに行なってください。破損するおそれがあります。

## 2 位置ぎめ



母屋(受材)間隔は裏面、母屋間隔の表をご覧ください。

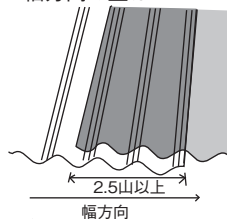
軒先の出幅は100mm以下に(風圧・雪害を防止する為)  
 ※強風地域は50mm以下にしてください。



流れ方向の重ね代

勾配	2/10	2.5/10	3/10	4/10	5/10
重ね代(mm)	200以上	180以上	150以上	120以上	100以上

幅方向の重ね



幅方向の重ね

波型	鉄板小波
重ね代(山)	2.5山以上
動き幅	約576mm

重なりの下側になるナミイタの端は山が上向きになるのが原則。

重ね代は必ず固定してください。

# 3 穴あけ

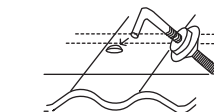
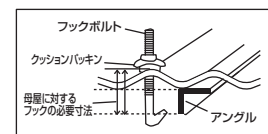


穴あけはきり、電気ドリルであけます。穴の大きさは取付ける金具の径より**2mm程度大きめ**にあけます。穴径が小さいと熱伸縮によりクラックが入ったり、母屋間で膨らみが発生し雨もりするおそれがあります。

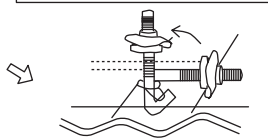
※軒先部は、**3~4山おき**に穴をあけてください。

(注)穴は、かならず山にあけてください。

# 4 固定のしかた



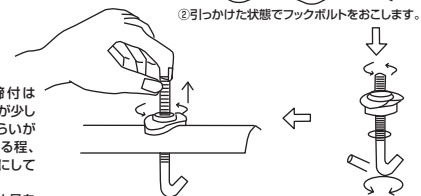
①ナットをゆるめて、引っかけ部分先端を穴に挿入します。



②引っかけた状態でフックボルトをおこします。

### ⚠注意

・フックボルトの締付はクッションパッキンが少し押しつぶされるくらいが良く完全につぶれる程、締めすぎないようにしてください。  
 ・重ね代には必ずとめ具を打ってください。



④フックボルトを上へ引っぱりながらネジ部のナットを締めます。

③フックボルトを回転させてアングルに引っかけます。

# ⚠警告

## 安全上の注意

- ナミイタに直接体重を乗せると破損し、墜落することがあるので避けてください。やむをえず上に乗る場合は、母屋のあるところにするか、踏み板を渡してください。
- ナミイタに飛び乗ったりたいたいりしないでください。(局部的に衝撃荷重を受けると割れるおそれがあります。)
- 無理にたいたいりすると脱落したり、破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 火気使用付近への設置や、火気を近づけたりしないでください。
- 部分的な修理や取り替えは、まわりのナミイタや母屋が弱くなっていることがありますので母屋や下地材を補強した上で作業してください。
- 水にぬれたナミイタ、重なったナミイタの上では、すべりやすいのでご注意ください。
- 脚立に登ったり、高いところでの作業は、足場が安定していることを確かめて、また、もう一人が脚立を支えるなどして安全には十分注意してください。